



一般社団法人

# JWMTO トピックス

Vol. 1

2016年11月16日発行

日本の未来を支えあうチカラ

## 創刊号

1. 創刊のご挨拶
2. 事務局からお知らせ
3. 国交省情報
4. 活動報告
5. 会員だより
6. スポンサー様より



## 創刊のご挨拶



### 関澤俊夫

一般社団法人  
日本福祉医療輸送機構 JWMTO  
理事長

JWMTO も設立から一周年を迎えます。この節目にあたり、メールマガジンを発刊することになりました。会員の皆様に、当機構の活動や取組、情報はじめ、会員談話や関係省庁情報を発信させていただきます。今後とも、宜しくお願い申し上げます。



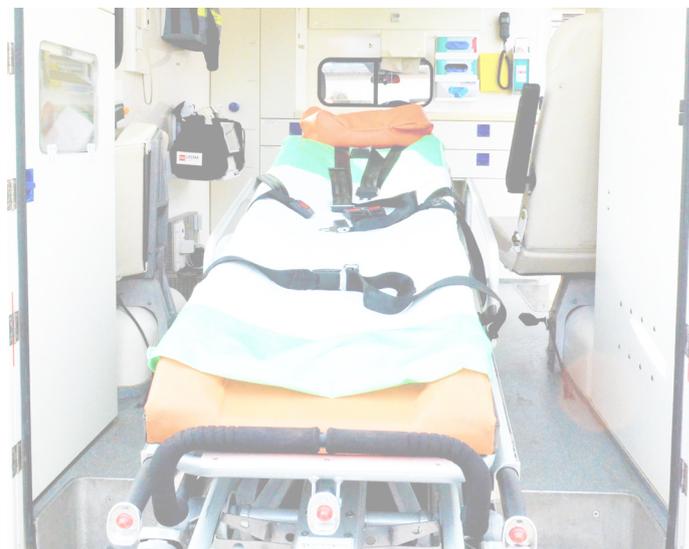
## 事務局からお知らせ

**某** メーカー様から介護タクシー向けメーターの紹介があり、事務局が説明を受けました。時間制運賃に対応、介助料・器材料について1,000円、100円きざみでの対応ができ、訂正も可能。販売価格は未定ですが、「JWMTO仕様」のお墨付きを与えたいと考えています。他メーカー様との関係もあり、現在、メーカー様名は伏せております。

**東** 京都江東区では、現在、区が福祉有償運送の事業を行っています。これは、民業の圧迫になるのではないか？という事で、江東区議会議員の川北議員に JWMTO としての見解をお伝えしました。川北議員にはこの件につき、江東区議会で質問をしていただく予定です。

→ 一般（団体未加入の事業者）へ向けて JWMTO の会員募集を開始します。現在、会員規約を作成中で、規約が完成した後、情報公開する予定です。会費は5,000円/月となる予定です。

**障** 割アンケートについて集計が完了しました（回収数は約200事業者）。ご協力ありがとうございました。今後、メルマガの活動報告にて請願の経過をお知らせ致します。来年度の予算化を目指しています。（補正予算も含む）一方で、ケア運賃の考え方に対する動きも注目が必要となってきました。福祉限定車両の運賃は、従来の、一般タクシーの運賃根拠（原価計算）の考え方とは違いがあると考えられるため、「そもそも障割は不要ではないか？」との当局側の一部意見もあり、更なる検討が必要となっています。





車両の購入補助金の一次募集は締め切れ、今年度の予算はすべて消化しました。国会では補正予算が通りましたが、予算の振り分けが未定なために、二次募集があるかどうかは、不透明な状態です。



## 4

## 活動報告

**関** 澤理事長と東谷理事が、障害者割引の助成金に関して、関東運輸局にご相談に行きました。今後、臨時国会が終わった後、国土交通省にアポイントを取る予定です。

**広** 報活動の一環として、NHKとの繋がりができました。今後、取材等があれば積極的に受け入れたいと考えています（ひるまえほっと、おはよう日本等の番組にて）。

「タイプ別車いす」「福祉対応車両」乗車検証会を行いました。

<b>主催</b>	JWMTO	<b>実験車両</b>	NV200 バネット
<b>実施日</b>	2016年8月27日		ハイエース（ロング&スーパーロング）
<b>場所</b>	夢の島マリーナ（東京都江東区）		キャラバン（NV350 & 25型）
<b>目的</b>	2020年のパラリンピック、又その先を見据えて、 ①現状のUDタクシーの輸送力の確認 ②介護・福祉タクシー車両の輸送力の確認	<b>実験した車椅子のタイプ</b>	アルファード
<b>協力団体</b>	(株) OX エンジニアリング、有限会社 さいとう工房、NPO 東京バリアフリー ツアーセンター		セレナ
<b>内容</b>	様々なタイプの車椅子と福祉車両の組み合わせで乗車実験を行いました。		簡易電動車椅子（約30kg）
			フル電動車椅子（スイス製・約100kg）
			多機能選択型電動車椅子（さいとう工房様・レル）
			シニアカー（約150kg）
			競技用車椅子（車いす陸上、車いすバスケット、車いすテニス）



## 実験結果

- NV200 では、電動車椅子の乗降の際、スロープの継ぎ目で後ろに転倒する可能性がある。
- スロープ車両では、重いシニアカーの乗降でスロープがしなり、折れる可能性が考えられる。
- 海外からのお客様はシニアカーの利用率が高く、総重量が 200kg を超える可能性があり、この場合は電動リフト車でも耐荷重を超える可能性がある。
- 車椅子と車両の組み合わせによっては天井の高さが窮屈で快適性に欠ける。
- パラスポーツを想定した場合、UD 車両で多く使用される NV200 は選手の移動で使えない可能性が高い。

## 参加者のご意見

**高島なおき氏**（東京都議会五輪・パラリンピック推進対策委員会委員長）

「オリンピック・パラリンピックに向けて 3,000 台程度の UD 車両があれば十分と考えていたが、車椅子利用者が多いパラリンピック委員会の専用車も 100 台は必要になる。また、車椅子が多様化しており、現状での 100%対応は困難であることがわかった。」

**萱場明子氏**（東京都五輪準備局部長）

「これだけの福祉車両の種類を見たのは初めて。障害者手帳を持つ都民は 5%～7%、その他に 20%を越す高齢者、小さな子供を持つ親などを合わせると、都民の約 1 / 3 の方々がなんらかの形でバリアフリーを必要としている。」

## 結論

- 現状の UD 車両での福祉移送能力は充分ではなく、今後、介護・福祉車両の台数を多くする必要性が明らかになりました。
- 今回の検証実験動画を JWMTO の **Facebook** 及び **YouTube** で公開中。  
検証実験動画：<https://youtu.be/guONttX3Ygs>



検証実験動画は  
こちらの QR コードからも  
ご覧いただけます。

去る 11 月 4 日（金）、（一社）センターポール主催の 2016 パラリンピック出場選手の報告会・祝勝会に JWMTO の理事が後援参加しました。（一社）センターポールとは、障害者スポーツ選手の活動をサポートする組織で、（一社）日本福祉車両協会と JWMTO が後援しています。今後も 3 社の連携・協力が行われて行く予定です。

今回は「一般社団法人北海道福祉ハイヤー協会」の  
北林代表理事よりご投稿をいただきました。



## 『ご挨拶』

ジェウント会員の皆様、こんにちは。代表理事の北林と申します。

私自身も、介護ハイヤーの事業を初めて、足かけ5年になりますが、私どもの地区では福祉ハイヤー、タクシーの専業事業がメーター走行料金（貸切料金外）で始まったのは、今から15、16年ほど前からでして、それまでは、函館地区のハイ、タク事業所は時間貸切料金のみで、地域的には高額料金で、尚且つ、資格の無いドライバー（助手）で事業をしていたところに、福祉輸送事業 限定の認可、許可を受けた事業者がでてきたのがきっかけで、現在では、小型、中型、大型で、30事業者があります。（9割が個人事業者）

今から3年前に当法人を立ち上げ、地区事業者にご案内をしましたが、すぐには賛同を得られずにいましたが、近年は少しずつご理解をいただきつつあります。私どもの協会の趣旨は、地域の皆様が気軽に使えるように、明良会計で運行する福祉、介護ハイヤー、タクシー業界を目指して活動をしているところです。

北海道運輸局 函館運輸支局、輸送課との打ち合わせを重ねた結果、タクシーメーター器に、ボタン設定をしてレシートに詳細を出るようになり、現在では99パーセント、レシートのみで清算でき、明良会計での運行する協会ですとPRしているところです。

また、本年、8月5、6、7日と、（一社）日本福祉のまちづくり学会の全国大会が函館市で開催されて、市民公開シンポジウム（テーマ、公共交通と福祉のまちづくり）にコメンテーターとして登壇し、150名の方の前で、当協会、ジェウントの理事として、公的機関の方々へ意見を述べさせていただきました。

昨年、ジェウントの設立総会に、懇親会に北海道から日帰りで出席した私ですが、近いうちに理事会に出席したいと思います。

ここで本部へのお願いがあります、交通費の一部を助成の制度を考えていただければ幸いです。何卒宜しくお願いします。

今後はジェウントと共に、ご利用様のため、我々の業界のために微力ながらともに活動をしてまいりますので何卒宜しくお願い申し上げメルマガ、第一号の挨拶といたします。

団体名・代表者 一般社団法人北海道福祉ハイヤー協会 代表理事 北林亨  
本部所在地 北海道北斗市七重浜2丁目36番7号  
電話番号 0138-49-0410、090-3898-9270（直通）  
公式サイト <http://www.kurumaisu-hokkaido.com/>



# 介護現場に すぐに役立つ IP 無線



## SoftBank 301SJ

### 1. IP 無線とは？

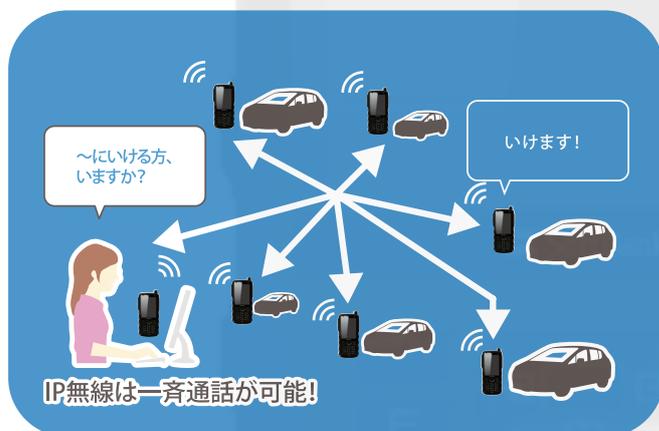
「ソフトバンク 3G 回線を使用した業務用携帯型トランシーバです。

ソフトバンク 3G サービス内では日本全国で通話が可能、GPS 機能搭載で位置情報・状態の確認が可能です。通話モードは一斉（1:N）、グループ、個別（1:1）などがあり、無線特有の同報性、即時性で重要な情報が即時に伝達出来ます。

\* 詳細は → <http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/201sj/>



### 2. ご利用シーン



車両を複数台ご使用の事業者様での業務連絡（出発・完了、緊急時等）。携帯電話と違い一斉通話にて即時に情報共有が可能です。

### 3. 導入メリット

事業者間で業務の状況が確認・共有でき、お客様からのお問い合わせ等に直ぐに回答でき、お客様からの信頼向上、配車回数の増加など業務の効率化が期待できます。



東京

TEL 03-5777-3974 FAX 03-3434-8117  
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー12F

大阪

TEL 06-4797-7610 FAX 06-4797-7635  
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-6 東洋紡ビル4F



公式サイト

<http://www.seiryodenki.co.jp/>





**発行元**

一般社団法人 日本福祉医療輸送機構 JWMTO

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-6-9 ジュネシオン竜泉101

発行責任者：理事長 関澤俊夫

TEL：03-5849-4199 FAX：03-5849-4210

公式サイト：<http://www.jwmto.or.jp/>

